

平成21年2月6日

各 位

上場会社名	株式会社 バルクホールディングス
代表者	代表取締役社長 村松 澄夫
(コード番号)	2467)
問合せ先責任者	経理財務部長 笠原 誠
(TEL)	03-5649-2500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,284	△70	△51	△117	△3,382.95
今回発表予想(B)	1,096	△164	△145	△292	△8,413.85
増減額(B-A)	△188	△94	△93	△175	――
増減率(%)	△14.7	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,399	△85	△79	△201	△5,797.86

修正の理由

サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機は、实体经济の減速を招きました。当社グループは、マーケティングリサーチ事業に関しては、価格の競争が激化しておりますが、当社グループが重点施策として取り組んでおります「収益構造の改善」が徐々に成果を發揮し、引き続き堅調な収益を確保しております。

また、コンサルティング事業に関しては、事業戦略コンサルティング分野では、景気の後退懸念から、事業戦略および商品戦略を見直す企業が始め、戦略コンサルティングの需要が伸長しております。

しかし、情報セキュリティコンサルティング分野および内部統制コンサルティング分野では、セミナーによる集客は高く、企業の関心はあるものの、景気の後退懸念等の影響により、コンサルティングの導入やITシステムの導入に慎重となる企業が増加したことに伴い、売上高は計画を下回りました。

以上の結果、売上高につきましては、計画を188百万円下回る1,096百万円となる見込みです。

営業利益につきましては、経費削減に取り組んでおりますが、上記売上高の減少による影響により、計画を94百万円下回る164百万円の損失となる見込みです。

経常利益につきましては、受取利息等により営業外収益が増加したものの、営業損失の影響により、計画を93百万円下回る145百万円の損失となる見込みです。

当期純利益につきましては、上記の理由に加え、第3四半期に株式会社ベル・マーケティング・サービス(連結子会社)の全株式を譲渡したことによる子会社株式売却損76百万円を特別損失を計上したことなどにより、計画を175百万円下回る292百万円の損失となる見込みです。

これらにより、平成20年11月14日に公表した通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(備考)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以 上